

# 近畿者税

No.233

2017年5月22日発行

## 近畿青年税理士連盟

事務局：大阪市北区梅田1丁目3番1-600号 大阪駅前第1ビル6階1-102号

TEL&FAX 06-6456-3312 <http://www.kinki-aozei.jp>

発行責任者/山下 尚宏 編集責任者/福田 典史

## 退任の挨拶

第52代 代表幹事 **山下 尚宏**  
(兵庫県支部)



私の記憶に間違いがなければ、2015年の秋季シンポの懇親会の場で、代表幹事推薦委員会委員長の瀬川さんの「代表幹事しない？」の一言がすべての始まりでした。まさか私に声が掛かるとは思いもしなかったので、色々悩み、森岡さんを飲み誘い、二人で焼肉屋に入り席に着くや否や「代表幹事の話やろ？俺、何をしたらいい？」、覚悟を決めた瞬間でした。その場で、同期支部長だった和田さんに制度部長をお願いしたところ、快諾していただき安堵したのを昨日のように覚えています。

一年間やらせていただいたの率直な感想は、「多くの方に支えていただき、受けて本当に良かった」の一言に尽きると思います。近畿税理士会定期総会の質問を始め、連盟活動の各場面で先輩方から多くのアドバイスをいただきました。多くの方に「気楽に、好きにやったらいいよ」とおっしゃっていただき、非常に感謝しております。

今年度で心がけたのは、各部長のやりたいことをやらせよう、なるべく口を出さないということでした。そのため各部長や委員長は大変だったと思います。その影響かどうかは分かりませんが、制度部会では各委員長を中心に非常に活発な議論が交わされたと思います。その議論が懇親会まで続き、税制改正委員長の藤原さんは何回も泣かされていましたね。秋季シンポ委員長の吉村さんも、全国大会で燃え尽きた和田制度部長のお尻を叩きながら(本当は逆なんです)、皆さんを引っ張っていただき、そのお陰で秋季シンポでは二位という成績をとることができました。税理士制度委員長の居林さんも、遠いところからいつも参加していただき、大変だったと思います。組織部長の児玉さん、広報部長の福田さんも本当にお任せばかりで申し訳

ございませんでした。

本当にこの一年間は、各支部長・各部長・部員の皆さんを始め、あらゆる所で多くの青税会員の皆様とご縁を頂き、忙しくも楽しい時間を過ごすことができました。皆様に対して心より感謝申し上げます。

そして最後に、総務部長の森岡さん、制度部長の和田さんには誰よりも苦勞をおかけしたかと思ひます。同期支部長の仲に免じてご容赦いただければと思ひます。

一年間ありがとうございました。そして森岡さん、頑張ってください！来年の今頃は忙しさのあまり痩せているのか、それともさらに大きくなっているのか、楽しみにしております！



## 各部長・委員長退任のあいさつ



総務部長  
森岡 崇  
(大阪支部)

今年度、総務という重要なポジションを担当させて頂いた森岡です。一昨年に山下さんからお話しを頂いて、山下さんが代表幹事をやるなら総務部長をやると偉そうな口を叩き、就任の6月総会前後では多くの先輩から総務向きではないと言われ始めた一年間でした。

私なりに一生懸命やりましたが、たまに抜ける事があり、代表幹事、幹事の皆様には迷惑をかける事もあったかと思ひます。始めは事務作業の多さに戸惑っていましたが、最後までバタバ

タで先輩方のおっしゃる通りで、自分は総務向きではないと感じました。

何とか一年間をこなしてきましたが、今は最後の事務作業の真ただ中で、四月、六月の総会の準備、議案書等々に追われています。前年は「今年を乗り切ったら楽になるだろう」と思っていたのですが、年々負担が重くなっていくような気がします。

本当に一年間ありがとうございました。



制度部長、京都大会実行委員長  
和田 泰裕  
(京都支部)

8月6日の全青税京都大会はおかげさまで大成功となり、終わって息つく間もなく制度部事業に突入したように思ひます。皆で集まって議論してナンボという方針のもと、制度部会は例年の倍くらいの回数を開催した感覚があります。全青税秋季シンポジウム、近税会への税制改正に関する意見書提出に向け、各支部にて原稿や意見書の執筆、研究発表、遠くから部会参加いただいた方もあり、ご無理申し上げたことばかりだったと思ひますが、皆様快く最後までご参加いただい

て共に議論ができましたこと、本当に感謝するとともに、勉強になりました。初の試みである滋賀県支部と連盟の共催による税理士制度研修会も大好評でした。本年度も近税会執行部との懇談会では支部長と制度部が中心に意見し、青年税理士の思いを伝えました。執行部の反論じみた答弁により悔しい思いをした事項もありましたが、我々はさらに上を行くのだ！と反論を考えることにより議論を深めるきっかけとなりました。

吉村委員長、藤原委員長、居林委員長をはじめ部員皆様には本当に感謝と同時に絆が深まったと思ひています。部会後に通った大阪駅前第一ビル地下の激安中華屋が忘れられぬ思い出です(笑)今後の制度部をさらに盛り上げて行って欲しい！と願ひます。一年間ありがとうございました。



組織部長  
児玉 直美  
(大阪支部)

組織部長として連盟の執行部に参加させて頂き、一年間活動してみて、支部活動とは一味違う経験をさせて頂きました。連盟の活動は、近畿の各支部が協力し、税理士制度や税制改正、シンポジウムのために、勉強し知恵を出し合い、これからの税理士制度をよりよいものにしていくために活動していることがわかりました。このような活動を続けていくためにも、組織として現在の会員の方には行事にもっと参加して頂き、新規の会員も増やしていかなければなりません。組織部の地道な活動も

重要な役割であることを改めて認識しました。

毎月の証票伝達式は、新しく税理士となられた方にお会いできる貴重な機会ですし、より多くの方に近畿青税を知って頂くチャンスです。各支部の皆さんには、配布チラシの準備や税理士会でのリーフレット配布、リーフレットの更新にご協力を頂き、本当にありがとうございました。今後も引き続き組織部の活動にご協力をお願い致します。



広報部長  
福田 典史  
(兵庫県支部)

支部でも広報部員になったことがなく不安な中でのスタートでしたが、年4回の広報紙を滞りなく発行できましたこと、前任の梅本さんの詳細な引継ぎ、部員の皆様のご協力、そしてご執筆頂きました皆様のご協力のおかげでございます。本当にありがとうございました。また、ホームページの管理を担当して下さった林直樹さんにも感謝申し上げます。

広報誌作成において一番印象に残っているのは支部長座談会の企画です。各支部独自の取組やそれぞれの問題点を共有することができ、これからの各支部の運営の参考になったのだと思います。特に滋賀県支部の、入会間もない会員に講師をお願いして研修会を開催する取組は非常に興味深く、失敗が許される青税ならだと感心致しました。また、幹事会をスカイプで開催できないかとの話もあり、これからの時代、検討の価値がある発想だと思いました。このような様々な情報が掲載される広報誌を今後ともよろしくお祈りします。



税理士制度委員会委員長  
居林 裕樹  
(滋賀県支部)

制度部が無い滋賀県支部から税理士制度委員長を任されるとは夢にも思わなかったのですが、連盟会員の皆さまのお力添えを頂いたおかげで、何とか一年大きなトラブルも無く活動させて頂きました。特に和田制度部長には多大なるご迷惑とご心配をおかけしましてすみませんでした。

私が一番印象に残っていることは、11月に連盟と滋賀県支部との共催研修会を開催できたことです。その研修会では、「税理士制度を語ろう」というタイトルのもと「未来の税理士制度について」と題して坂井昭彦会員が講師を務めて頂き、非常に充実した時間であったと思っています。さらに「税理士制度のあるべき姿」と題してのパネルディスカッションでは、パネラーを中心に会場の会員からも活発な意見が飛び交い、これぞ青税なんだとつくづく思いました。

それから、青税会員を対象として検討していた税務調査アンケートについては、次期委員長へ引継ぎをさせていただきます。

連盟会員の皆さん、本当にありがとうございました。



税制対策委員長  
藤原 功子  
(兵庫県支部)

平成28年11月8日、無事に税制改正意見書を近畿税理士会調査研究部に提出することができました。例年よりも早い時期に提出することができた

のは、各支部会員の皆様の多大なるご協力があったからです。ありがとうございました。

「私たちの意見を税制改正に繋げるためには、まず本会の意見書に取り入れてもらわなければならない。」との思いを胸に、平成28年度税制対策委員長としてスタートしましたが、意見書作成の部会を進めるにつれ、実現可能性を重視するのか、それ

とも自分たちの勉強として青税の理想を追求するのか、判断に迷う部分が多々ありました。私の強烈なこだわりで今年度の意見書の重点要望項目を「納税者権利憲章」に絞りましたが、結果、良くも悪くも調査研究部に「青税」というインパクトを残すことになったのではないかと思います。

意見書作成に携わってくださった会員の皆様には、毎週のように部会があったり、遠方から来てくださっているのに時間切れで自分の担当箇所を話し合えなかったり…と、本当にしんどかったと思いますが、この活動によって税制に対する考え方や理解を深めることができそれが自己成長に繋がる、とプラス思考で受け止めて頂ければ幸いです。

1年間ありがとうございました。



秋季シンポジウム委員長  
吉村 浩至  
(奈良県支部)

昨年度の奈良県支部長を終えて、ほっとする間もなく始まった秋季シンポジウム委員長でしたが、なんとか無事に役目を終えることができました。

秋季シンポジウム委員会のスケジュールは、6月総会から9月末の論文原稿締め切り、そして11月の発表に向けての台本作成、発表練習と息つく間もなく進行していきます。その間に、メンバーで役割分担してゼロから創り上げていくという、非常に濃密で貴重な経験をさせていただくことができました。

山下代表幹事をはじめ各部長、委員長には大変お世話になりました。また、たくさんの方にご協力、応援していただきましたこと心より感謝しております。

早くも次のテーマが発表されて次年度のシンポジウムへ向けた準備がはじまろうとしています。次年度も是非多くの皆様に積極的に関わっていただき、シンポジウムを盛り上げていていただきたいと思います。皆様1年間どうも有難うございました。

## 支部長退任のあいさつ



大阪支部 支部長  
山田 暁久

1年間支部長という大役を仰せつかって活動して思ったことは、私は大変恵まれていたということです。多くの素晴らしい幹事の皆様に支えられたからこそ支部長職を全うすることが出来ました。

忙しい中、毎月幹事会にも多くの幹事の皆様に参加して頂き、賑やかに幹事会を開催出来ました。また、幹事の皆様に色々面倒なお願いをしてきましたが、嫌な顔ひとつせず快諾してくれてとても助かりました。幹事の皆様、1年間本当にありがとうございました。

本年度は組織の活性化を目指し取り組みましたが、正直道半ばで、特に会員拡大については力及ばず申し訳なかったです。次年度の支部長をはじめとする幹事の皆様におかれましても、引き続き会員拡大には積極的に取り組んで頂き、私もお手伝いさせていただきますので是非とも青税大阪支部を盛り上げて頂きたいと思っております。

最後になりますが、会員の皆様、1年間本当にありがとうございました。



京都支部 支部長  
岸 竜輔

昨年の6月総会で京都支部の支部長に就任し、早いものであっという間に濃密な1年が過ぎ去ろうとしています。本年度は「京青税のシンカを魅せましょう！」というスローガンのもと3つの「深化」「進化」「真価」をキーワードに、会員同士または会員と京青税の関係の深化、組織の進化、そして京青税の真価を発揮するべく活動してまいりました。

「人生には3つのサカがある。」小泉元総理の言葉だそうです。1つ目は「上り坂」2つ目は「下り坂」そして3つ目は「まさか…」振り返ると、支部長としての1年は「まさか…」の連続

でした。「まさか自分が支部長になるなんて…」から始まり、予想外の事態が次々と発生したものでした。そんな時に執行部をはじめ、支部幹事、会員の皆様が力を貸してくれて一丸となって困難を乗り越えて、退任の日を迎えられたことを嬉しく思いますし、これぞ京青税の真価だと感じます。

1年間温かく見守っていただきました支部会員の皆様、私を支えてくれた執行部、支部幹事の皆様、そしてかけがえのない経験と素晴らしい仲間と出会えた京青税に何より感謝申し上げます。京青税のみならず連盟の今後の益々のご発展を祈念します。ありがとうございました。



兵庫県支部 支部長  
辻田 学

この一年を振り返ると、まず8月に全国大会が近畿主催として京都で開催されました。我々兵庫県支部は懇親会での夜店を担当し、綿菓子と射的をやりました。子供たちにはすごく楽しんでもらえたとし、私自身も綿菓子を上手につくるスキルが身についたので大成功でした。その後すぐに税制改正意見書の作成にとりかかりました。あまり力にはなれなかったのですが、制度部員として作成に携わり、現行の税制の問題点やあるべき税制を深く勉強できたことは、今後の実務にも大いに役立つと感じています。間髪入れず11月には秋季シンポジウム。今年は出演

もなかったので応援として行きました。近畿は惜しくも銀メダルでしたがすごくいい出来でした。箱根での開催ということで支部の仲間と温泉に入ったこともいい思い出です。

忙しい一年でしたが得るものもたくさんありました。一番は、やはり他支部の方々と交流できたこと、特に支部長の方々とそれぞれの支部での活動や悩み、仕事のことなどたくさん話げできたことは大きな財産になりました。一年間ありがとうございました。



和歌山県支部 支部長  
谷井 茂紀

長かったのか短かったのか、いろいろあって正直よくわかりませんが、このたび和歌山県支部長を無事に退任できることになりました。

この一年、和歌山県支部では、京都で行われた全国大会に支部旅行を企画して参加させていただいたり、奈良県支部と合同のレクリエーションなどを新たな試みとして行いました。支部会員数も今年も無事に増加し、支部幹事会も毎回10名程度参加いただけ、和青税の将来にバトンを繋ぐことが出来たのではないかと考えています。

連盟の活動では、まず本会6月総会の質問ですが、質問者多数で当ててもらえないという悲しい結果に…その質問は12月の本会執行部との懇談会で質問させていただくことになりました。箱根で行われた秋季シンポジウムには照明係として参加させていただき、連盟のみなさんと一つのものを作り上げる楽しさを味わわせていただきました。

6月からは新支部長、よろしくお願いたします。この一年間お世話になりました連盟の皆様、ありがとうございました。そしてこんな支部長を支えて下さった支部の皆様、本当にありがとうございました！



奈良県支部 支部長  
堀井 亮良

振り返ってみますと、そんなに長くはなかったのかなという印象です。

ひとえに、皆様のご協力により成り立った平成28年度ではなかったかと思えます。

私自身、青税歴3年目での支部長を拝命し、右も左もわからないまま、様々な経験をさせていただきました。

8月の全国青年税理士連盟京都大会では、微力ながら実行委員として携わり、秋季シンポジウムでは、奈良県支部から吉村会員が委員長として参加されているので、その足を引っ張らないよう参加させていただきました。

これら以外にも、近畿税理士会総会での質問対策、近税会執行部との懇談会対策、次期代表幹事推薦委員会、月次の連盟幹事会等々、いろいろな方々と出会い、意見を交わし、時には冗談もあり、愉しく会務に携われました。これも周りの方々のおかげです。

このように文章に起こしていきますと、冒頭で“そんなに長くはなかった”と始めましたが、やはり長かったです。この長い1年間支えていただいた皆様に感謝し、次期奈良県支部長にもこれまでと同様支えていただきますよう宜しくお願い致します。

山下代表幹事をはじめ連盟各幹事の皆様、ありがとうございました。



滋賀県支部 支部長  
小澤 哲二

あっという間か、ようやくというか。滋賀県支部支部長を退任することになりました。一年間やりきった安堵感と同時に支部長退任と青税卒業の寂しさが複雑に絡んだ何とも言えない心境です。

楽しくなければ滋賀青税じゃない。毎日のハードワークをこなしながらも毎月の例会には笑顔で集まり、懇親会では、酒を酌み交わし、心の傷をペロペロ癒す。誰も愚痴をこぼさない。そんな前向きなヤツらが大好きです。

連盟では、全国大会が京都で催されたこのタイミングで、執行部に名前を連ねられた事が光栄です。特にそれぞれの支部長さんには、各支部の色は違えど、同じ立場として多いに刺激を受け、勉強させて頂き、時にはお互いの存在が支えとなりました。深く感謝しております。

また、山下代幹をはじめとする執行部の皆様方、一年間本当にお疲れ様でした。青税という素晴らしい組織が税理士という素晴らしい仕事が今後、益々必要とされることを願ってやみません。一年間ありがとうございました。

青税という素晴らしい組織が税理士という素晴らしい仕事が今後、益々必要とされることを願ってやみません。一年間ありがとうございました。

青税という素晴らしい組織が税理士という素晴らしい仕事が今後、益々必要とされることを願ってやみません。一年間ありがとうございました。

## 四月定時総会レポート



総務部 西川 悦史  
(和歌山県支部)

平成29年4月8日、近畿青年税理士連盟の定時総会が開催されました。会場はTKPガーデンシティ梅田、とのことだったのですが、これと思われる建物の前にいるにもかかわらず入口がわからず、4往復目にしてようやく内部への進入ルートを見つけるといっかっぺぶりを発揮いたしました。汗だくのオッサンが路地を行ったり来たりしている様はさぞかし怪しかったろうと思います。



さてなんとか無事に定刻前に会場入りできまして、四月定時総会いよいよ開会です。まず第1号議案で幹事が無事に選任され、続く第2号議案の採決により我々が総務部長、森岡崇会員が代表幹事に正式に就任することとなり、万感胸に迫る思いでありました。すみません、ちょっと言い過ぎました。これにて次期体制が固まりました。私も微力ながら会務に尽くしたいと思います。

その後、制度部研修といたしまして、近畿税理士会副会長の播本先生と石原先生をパネリストにお招きし、税理士制度についてのディスカッションが行われました。内容はオフレコということでちょっとここには書けないのが非常に残念なのですが、個人的に感じたことだけ述べさせていただきますと、制度というのはさながら生き物のようであって、時代の要請に応じて進化を遂げるため常に生みの苦しみの中であり、しかしその核となるのはいつも「独立した公正な立場」なのである、ということでした。これをもっと広く一般にわかりやすく伝えること、ひいては納税者が納税者たる自覚を持てる世の中を、というのが青税の主張なのかなと思います。

抽象的になりますのでこの話はこのぐらいにしまして、その後は和やかに懇親会です。各支部の次期支部長によるスピーチが恒例となっていると、このときに初めて伝えられ、



アドリブに弱い私は非常に焦り、スピーチの半分は「平成30年6月9日和歌山県支部50周年記念」の宣伝にあてさせてもらって、お茶を濁しました。遠方のため二次会には参加できず残念でしたが、また幹事会等々にて幹事の皆様方とお会いできますことを楽しみにしております。

## 新代表幹事決定！

四月定時総会レポートでもお伝えしましたが、近畿青年税理士連盟の第53代・代表幹事に、大阪支部の森岡崇会員が決定しました。森岡会員は昭和48年12月21日生まれ。大阪支部では、厚生部長・組織部長・支部長を歴任し、当連盟では制度部長・総務部長を歴任しています。(森岡代表幹事のプロフィールについては、No.230「新部長の顔ぶれ」も併せてご覧ください)



### 山下代表幹事に聞く

Q.代表幹事として活動した1年を振り返り一言感想をお願いします。

A.忙しくも、楽しかったです。

Q.特に代表幹事として力を入れた点があればお聞かせください。

A.無理して背伸びしても仕方がないので、少しだけ頑張るとのことかな…

Q.最後に森岡新代表幹事に一言をお願いします。

A.持ち前のパワーと笑顔でどんどん前へ突き進んでください。楽しみにしています！

### 森岡新代表幹事に聞く

Q.代表幹事を引き受けたときの心境はどうでしたか？

A.代表幹事の依頼があったときは「まじで!!やっぱり来たか!!う〜んどうしょ!!」と思いましたが、頼られているうちが華かなと思ひやってみようと思いました。

Q.代表幹事としての抱負を聞かせてください。

A.過去の青税の先輩方を見習いながら、未来へとつながるように頑張っていきたいと思ひます。

## 幹事会報告

### ●第7回幹事会 平成28年12月15日(木) エル・おおさか

#### 【報告・依頼事項】

##### 総務部

1. 第6回幹事会議事録
2. 中間決算について

##### 制度部

1. 近税会との懇談会について
2. 税理士制度に対する意見について

##### 組織部

1. 証票伝達式について
2. 大原簿記・TACの合格者向けチラシの作成について

##### 広報部

1. 広報誌の発行について
- 各支部報告

#### 【審議事項】

##### 総務部

1. 四月総会の会場の件

##### 組織部

1. 連盟リーフレット増刷について

#### 【協議事項】

##### 総務部

1. 事務局移転について

#### 【その他】

代表幹事候補者等推薦委員会

### ●第8回幹事会 平成29年1月18日(水) キャンパスプラザ京都

#### 【報告・依頼事項】

##### 総務部

1. 第7回幹事会議事録

##### 制度部

1. 事業予定について

##### 組織部

1. 証票伝達式について
2. 連盟リーフレットについて

##### 広報部

1. 広報誌について
- 各支部報告

#### 【協議事項】

##### 総務部

1. 次年度連盟幹事、全青理事の人数について
2. 全青対策費について
3. 事務局移転について

### ●第9回幹事会 平成29年2月15日(水) 大阪市総合生涯学習センター

#### 【報告・依頼事項】

##### 総務部

1. 第8回幹事会議事録
2. 四月総会議案書について

##### 制度部

1. 税務調査アンケートについて
2. 制度部の論点整理について

##### 組織部

1. 証票伝達式について

##### 各支部報告

#### 【審議事項】

##### 制度部

1. 四月総会前研修について

##### 総務部

1. 四月総会のチラシ及び議案書について
2. 近税会役員との意見交換会について
3. 平成30年秋季シンポジウム近畿開催について

●第10回幹事会 平成29年3月22日(水) 神戸市勤労会館404号室

【報告・依頼事項】

総務部

1. 第9回幹事会議事録
2. 今後の日程について
3. 会計精算と会計監査について
4. 六月総会議案書の作成について
5. 四月総会の出欠について
6. 意見交換会について
7. 次年度の連盟幹事について
8. 認定研修について
9. 連盟会費請求について

制度部

1. 税務調査アンケートについて
2. 次期引継事項について

組織部

1. 証票伝達式について
2. 連盟リーフレットについて

広報部

1. 広報誌の発行について

各支部報告

【審議事項】

総務部

1. 六月総会の会場について

●第11回幹事会 平成29年4月8日(土) TKPガーデンシティ東梅田

【報告・依頼事項】

総務部

1. 第10回幹事会議事録
2. 会計精算について
3. 議案書作成、会員数確認について
4. 意見交換会の出席状況について

制度部

1. 税務調査アンケートについて
2. 論点整理について
3. 四月総会研修について

組織部

1. 証票伝達式について

広報部

1. 広報誌の発行について
- 各支部報告

【審議事項】

総務部

1. 第97回四月定時総会進行表について
2. 次年度連盟幹事について
3. 第98回六月定時総会案内文等について
4. 事務局電話について

## 路 地 裏

50周年を2年前に迎えた近畿青年税理士連盟。その活動の情報を長年にわたって会員の皆様にお伝えしてきたこの連盟広報紙も過渡期に来ているのかもしれませんが。今年度、滋賀県支部、和歌山県支部の一部の会員へのメール配信が始まりました。連盟から支部に、支部から会員に郵送される現状のシステムではどうしてもタイムラグが生じてしまいます。特に適時性という観点からはメール配信の方が有用だと思われます。しかしもちろん紙面には紙面の良さがありますので一概にどちらがいいとは言えません。次の50年に向かって次期執行部でもより良い広報紙を目指して下さい。楽しみにしています。

広報部長 福田典史

